

# 平成21年度決算事業評価シート

## 1 基礎情報

事業名(実施計画)	がん検診の充実		
事業コード	1-01-01-208		
政策名	章	いたわりと生きがいのある健康で安全なまち	
	節	健康な人づくり・体力づくり	
施策名	小節	健康	
	施策の方向	健康づくりの推進	

予算費目	会計	1	一般会計
	款	4	衛生費
	項	1	保健衛生費
	目	1	保健衛生総務費
	細目	30	健康増進事業費
細々目	1	健康増進事業費	

担当部課	保健福祉部保健福祉課	責任者(課長)	戸塚浩章	内線	3229
------	------------	---------	------	----	------

## 2 事業概要

事務事業名(業務棚卸評価)	がん検診事業	
事業目的	対象	目的
	40歳以上の市内在住者(ただし、乳房がん30歳以上、子宮がん20歳以上)	早期発見に重点をおいて実施し、特に希望者の多い乳房がん検診(マンモグラフィ)の充実を目指す。

事業内容	胃・大腸・肺・乳房・子宮のがん検診を市内在住の希望者を対象に実施。40歳以上の対象者全員に個別に施設検診受診券を送付。 施設検診－市内指定医療機関で実施。 集団検診－検診車で実施。 乳房がん検診(視触診+マンモグラフィ)は21年度は13回実施(20年度は11回)。
------	---

事業を取り巻く環境(事業に関する市民等のニーズ、国・県等の動向、社会環境等)	がんは日本人の死因第1位であり、がん対策推進基本計画(平成19年6月閣議決定)において、5年以内に受診率50%以上とすることとされており、市町村がん検診事業の規模拡大が必要不可欠である。
--	---

市民参加と協働の活用	医師でなければできない業務であるため、協働には該当しない。
------------	-------------------------------

根拠法令、国の方針・計画等	健康増進法 がん対策推進基本計画
---------------	------------------

## 3 コスト・財源

事業に係るコスト	直接事業費	財源内訳	20年度(決算)		21年度(決算)		22年度(予算)	
			金額	率	金額	率	金額	率
		国県支出金(千円)						
		地方債(千円)						
		その他(千円)						
		一般財源(千円)	368,937		350,048		378,302	
		A 事業費(千円):(予算に対する執行率)	368,937	100.0 %	350,048	99.9 %	378,302	%
	概算人件費	人件費						
		常勤職員数	0.87 人		1.84 人		1.51 人	
		常勤職員人件費(千円)…①	7,830		16,560		13,590	
		非常勤・臨時職員数	0.23 人		0.24 人		0.60 人	
		非常勤・臨時職員人件費(千円)…②	230		240		600	
		B 人件費(千円)…①+②	8,060		16,800		14,190	
		総コスト(千円)…A+B	376,997		366,848		392,492	

## 4 目標・実績

事業に係る活動の目標及び実績	指標名	単位		20年度	21年度	22年度	
				目標	実績	達成率	
	がん検診受診者数	人	目標	77,300	81,100	81,200	
			実績	74,735	75,038		
			達成率	96.7 %	92.5 %	%	
				目標			
				実績			
				達成率	%	%	%
				目標			
				実績			
				達成率	%	%	%

## 5 項目別分析

項目	分析結果	理由
必要性 (市民ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> ①必要性が高い	対象者は増加しており、特に乳房がん検診のマンモグラフィ受診希望者が定員数を上回っている状況である。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば必要性がある	
	<input type="checkbox"/> ③必要性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④必要性はない	
妥当性 (市が行わなければならないか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①市が行わないといけない	既に民間(茅ヶ崎医師会)に委託しており、これ以上の活用は見込めない。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば市が実施	
	<input type="checkbox"/> ③市が行う必然性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④市が行う必然性はない	
継続性 (引き続き実施する必要があるか)	<input checked="" type="checkbox"/> ①継続性が高い	健康増進法に基づく検診であり、休止した場合、市民は実費で検診を受けることになり、経済的に重大な影響を及ぼす。
	<input type="checkbox"/> ②どちらかといえば継続性がある	
	<input type="checkbox"/> ③継続性が低い	
	<input type="checkbox"/> ④継続性はない	
効率性 (より効率的な改善が可能か)	<input type="checkbox"/> ①改善が可能である	「人件費減」について、他の業務と併せて再任用職員の活用は可能と考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/> ②改善の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ③改善の余地が少ない	
	<input type="checkbox"/> ④改善の余地はない	

## 6 評価

	評価
活動状況 (課題も含む)	A
評価内容	
4月から翌年2月の期間中、市内指定医療機関において、胃・大腸・肺・乳房・子宮がん検診を実施。また検診車による集団検診として、胃・大腸がん検診を11回、乳房がん検診を13回、子宮がん検診を9回実施した。40歳以上の市内在住者には受診券の個人送付を行った。 課題として、乳房がん検診(視触診とマンモグラフィ)希望者が定員を上回っているため、市民ニーズに対応できていない状況がある。	
目標値の92.5%を達成しており、成果は上がっている。 事業の方向性は「拡大」である。	